

# 南高 同窓会会報

発行所  
四日市市大字日永宇岡山  
三重県立四日市南高等学校  
同窓会  
TEL.059-345-3177  
http://www.mie-c.ed.jp/hsyokk/  
07\_Alumni\_association



会長 早野憲一郎

## ご挨拶

同窓会会員の皆さまには、日ごろから同窓会ならびに母校に対して多大なるご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大で、色々な制限のある生活も2年目に入りました。今までできていた当たり前ができなくなり、我慢することも多い毎日の中で、子どもから大人まで多くの方がストレスを抱えていることでしょう。心に余裕がなくなり、攻撃的になってしまふ人もいるようです。

令和3年(2021年)は皆さんもよくご存じの聖徳太子の1400年忌にあたります。そこで、聖徳太子が制定した十七条の憲法の第一条に出てくる有名な言

葉「和を以て貴しとなす」について考えてみたいと思います。「和を以て貴しとなす」には、二つの意味があるとされています。一つは「人々がお互いに仲良く、調和していくことが最も大切なことである」、もう一つは「しつかり議論する」という意味です。一つ目の意味のほうが一般的にはよく知られていますが、今の社会には「議論すること」をしなうえで、「仲良く、調和すること」が必要であるように感じます。

人と会うことをなるべく避けなければならなくなり、会議やミーティングがオンラインで行われることが当たり前になりました。また、人に会うことができても顔の半分以上はマスクでおおわれているため、表情を読むことが難しくなりました。そのような状況の中では、どうしても思い違いや勘違いが起きてしまいがちです。話し合うことなく、受け手の想像でその場をやり過ごすと、衝突が起きやすくなるのも仕方がないことです。

このような時代だからこそ、相

手の話に耳を傾け、自分の意見を口に出し、議論することが大切だと感じています。議論してお互いに仲良く、調和しているのであれば、簡単に関係が崩れることはないでしょう。人と人とのつながりは、脆くもありますが基盤さえしつかりしていれば多少のことでは揺らぐことはありません。

誰もが不安を抱えて生活している今、誰かのちよつとした一言で落ち込むことや、怒りを感じてしまふこともあります。しかし、誰かのちよつとした一言が心を軽くし、温かな気持ちにしてくれるのも事実です。みなさんには南高の同窓生のつながりだけでなく、これまでに培ってきた多くの人とつながりがあることと思います。そんなゆるやかなつながりが私たちにはあるということをお忘れず、今を大切に過ごしていけたらと思います。このような厳しい時代を乗り越えた先に見えるものはきっと明るいものです。心を穏やかに支え合って、その日を待ちましよう。

最後になりましたが、会員の皆さまの今後一層のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げますと同時に、南高同窓会のさらなる発展に向けて、ご支援ならびにご協力をお願い申し上げます、ご挨拶いたします。



学校長 梅原浩一

## ご挨拶

本年度から、四日市南高等学校長として赴任いたしました梅原浩一です。同窓会の皆様には、日頃、母校の教育活動に深いご理解と多大なるご支援を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

本校は昭和三十四年に創立、本年度で六十三年目を迎えます。創立十周年記念誌の巻頭言には「鈴鹿山脈の一端が遠く延びて、伊勢平野に臨むこの高台、その名登城ヶ丘には、そのかみのつわものどもが夢の跡の響きがある。(中略)数ある候補地の中から選ばれたこの校地も、今から十年前には、笹原の岡あり、崖に挟まれた谷あり、梅樹に囲まれた麦畑、茶畑あり、小溝をめぐらした諸畑、野菜畑ありで、晴れた日でもゴム長靴でなくてはとでも入れない草莽の地であつた。」とあります。

本日に何も無い中で、昭和三十四年に富洲原中学校旧校舎を仮校舎として開校し、昭和三十五年に「登城ヶ丘」の新校舎に学びの

場を移しました。当時の方々の努力と熱意、希望と期待が現在に連綿と引き継がれ、本校の大きな支えになっていることを考えますと、それらを未来へと確実に引き継いでいくことに対する責任の重さを感じずにはいられません。

さて、本校では国が提唱するGIGAスクール構想と相まった個別最適化した学びへ対応するため、現在ICTの効果的な活用を進めています。

これからの生徒が、新しい時代を力強く生き抜いていけるよう、先端技術を手段として積極的に活用しながらも、人間ならではの考え方で実社会の課題等の解決をめざし、新たな価値を創造できる力を育てなければなりません。その際、大切なことは確固たる自分の軸を持ち、協働的な活動を通して人間関係をしっかりと築く力を併せ持つことです。このことは正に本校が草創期から大切にしてきた「豊かな人間性を育み、開拓者精神を培う」教育と一にするものであり、本校の不易としてこれからも大切にしていきたいと考えています。

最後となりましたが、同窓会のご健勝とご活躍を心より祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

## 令和2年度三重県立四日市南高等学校同窓会決算報告

自 令和2年4月1日  
至 令和3年3月31日

## 1. 〈前年度繰越金〉

22,623,658円

## 2. 〈収入の部〉

(単位：円)

科目	本年度予算額	決算額	差引残高	備考
入会金	636,000	636,000	0	R2年度卒業生 2,000円×318人
初回会報代払込金	397,500	397,500	0	R2年度卒業生 250円×5年分×318人
同窓会懇親会費	0	0	0	
会報協力金	20,000	15,000	△5,000	
寄付金			0	同窓生寄付金
雑収入	1,000	1,021	21	預金利息
収入計	1,054,500	1,049,521	△4,979	

## 3. 〈支出の部〉

(単位：円)

科目	本年度予算額	決算額	差引残高	備考
行事費	0	0	0	
会議費	20,000	0	20,000	
慶弔費	20,000	0	20,000	
旅費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
会報費	300,000	297,000	3,000	同窓会会報代(第51号)
通信運搬費	200,000	278,417	△78,417	会報郵送代(第51号)
手数料	4,000	2,308	1,692	振込手数料
委託料	100,000	66,000	34,000	会計業務委託料
分担金及び寄付 ※教育活動振興費含む	300,000	223,700	76,300	卒業記念品(印鑑等¥47,700)、 ※教育活動振興費：舞台幕補修(¥176,000)を含む
報償費	0	0	0	
70周年関係積立金	100,000	100,000	0	
予備費			0	
支出計	1,044,000	967,425	76,575	
収支差額	10,500	82,096	△81,554	
計	1,054,500	1,049,521	△4,979	

## 監査報告

1 〈前年度繰越金〉	22,623,658 円
2 〈収入の部〉	1,049,521 円
3 〈支出の部〉	967,425 円
計 〈残高〉	22,705,754 円
【残高内訳】	
普通預金	1,280,495 円
通常貯金	1,001,625 円
定期預金	11,865,701 円
定額貯金	8,689,000 円
郵便振替口座	68,933 円
計	22,905,754 円
通常預金のうち200,000円は70周年積立金	

上記の令和2年度決算報告について、会計帳簿及び証拠書類等について監査を実施しました結果、適正かつ正確に執行されているものと認めます。

令和3年6月29日

三重県立四日市南高等学校同窓会

監事 浦田 政博

令和2年度同窓会予算、「教育活動振興費」より、176,000円を体育館緞帳の補修費用に充てさせていただきました。

## 令和3年度三重県立四日市南高等学校同窓会予算（案）

自 令和3年4月1日  
至 令和4年3月31日

### 1. 〈前年度繰越金〉

22,705,754円

### 2. 〈収入の部〉

（単位：円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
入会金	638,000	636,000	2,000	R3年度卒業生 2,000円×319人
初回会報代払込金	638,000	397,500	240,500	R3年度卒業生 250円×8年分×319人
懇親会費		0	0	
会報協力金 ※	1,000,000	20,000	980,000	郵便振替口座から資金移動及び名簿販売等
雑収入	1,000	1,000	0	預金利息（定額預金満期利息含む）
収入合計	2,277,000	1,054,500	1,222,500	

### 3. 〈支出の部〉

（単位：円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
行事費	0	0	0	総会 懇親会 講師御礼
会議費	20,000	20,000	0	役員会
慶弔費	20,000	20,000	0	同窓会担当職員転勤等餞別等
旅費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
会報費	450,000	300,000	150,000	同窓会会報代（18,000部）
通信運搬費	1,530,000	200,000	1,330,000	会報郵送代、諸経費（全員発送年）
手数料	3,000	4,000	△1,000	振込手数料
委託料	66,000	100,000	△34,000	業務委託料（会計業務）
分担金及び寄付	300,000	300,000	0	卒業記念品、全国大会出場寄付金等 ※教育活動振興費（¥200,000）を含む
報償費	0	0	0	
70周年関係積立金	100,000	100,000	0	年度積立額（3年目）
予備費		0	0	
支出合計	2,489,000	1,044,000	1,445,000	
収支差額	△212,000	10,500		

1 〈前年度繰越金〉	22,705,754円
2 〈収入の部〉	2,277,000円
3 〈支出の部〉	△2,489,000円
予算 計〈残高〉	22,493,754円

項目間の流用等を役員会に委任する。

「令和3年度 同窓会定時総会」の中止により、予定されておりました報告事項「令和2年度決算報告及び監査報告」並びに審議事項「令和3年度予算（案）」の資料を掲載いたしました。

御質問等ございましたら、次のメールアドレス宛、令和3年8月20日（金）までにお寄せください。

hsyokk-dousou@mxs.mie-c.ed.jp

尚、同じものが四日市南高校同窓会ホームページ

[http://www.mie-c.ed.jp/hsyokk/07\\_Alumni\\_association/index.html](http://www.mie-c.ed.jp/hsyokk/07_Alumni_association/index.html) にもアップされております。

# OB Lecture OB講演会

2年生を対象に様々な職業の同窓生による講演会が行われました。

令和3年7月8日

## 日本旅行株式会社 四日市営業所営業課長 曾根尚次氏(26期)

『1,000円の旅行、100万円の旅行 満足できるのは?』という演題で講演頂きました。

講演の冒頭では、旅行会社の仕事についての紹介があり、その後、予算1,000円、100万円ですべてできる旅をそれぞれ考えてみるというワークシヨップを行いました。ワークシヨップを通して、予算の多寡に関わらず、顧客の価値観や希望に寄り添う提案をすれば値段以上の価値が生まれ、満足して貰える事がわかりました。

このようなプロの仕事を行う為に、曾根さんは「相手の気持ちになつてしっかり話を聴く」、「トラブルが起きても諦めない気持ちを持つ」、「協力してくれる仲間を探す」事を大切にされているとのことでした。こうした力は普通の学校生活の中で培う事のできる力であり、高校時代に得た知識や経験が、社会人として活躍する原動力になるとい



曾根尚次氏

## 株式会社O・GOE 代表取締役 杉山豊氏(31期)

「好きな事、出来る事、やりたい事を仕事にする」南高卒で良かった」という演題。

前半はご自身の学生時代から就職、起業するまでのお話。失敗や挫折を経験しながらも、その次にあるチャンスや人との繋がりによつて、次へと繋がった。

後半は就職や受験、キャリア形成において大切な事のお話。就職や受験、そして起業において「情報」、「情報」、「浄化(へこんだときの立ち直り方)」という3つのJと、プラス思考(こうなりたい)とマイナス思考(だめだったら諦めよう)の2つの面を考え行動することが大切である。また、学生のうちから人との繋がりをつくり仲間を増やす事、人に伝えられる・自慢できる武器(強み)を作る事が将来役に立つ。南高卒というのは1つの繋がりであり、特に地元では多くのOBと繋がりを作れるという強みである。

## 三重県水産研究所 沿岸資源増殖研究課主幹研究員 兼課長代理 竹内泰介氏(31期)

大学・民間・行政での研究者の違いや、海洋・水産技師の仕事に



川崎麻里氏

ついて、具体的なお話を交えてご講演いただきました。海藻の成分を用いた化粧品開発に関わったこと、海藻の有効利用を考えるために古文書を調べて提案していること、アワビなど海洋資源の保全、黒潮を観測することによりピンポイントで漁場を割り出す方法など、専門的でありながらたいへん興味深いお話をわかりやすくしていただきました。また、私の進路選択履歴という内容で、大学卒業後2年間、本当に自分のやりたいことを考える時間を過ごしたことについて話されました。

「1. とりあえず決めて、一生懸命やってみよう。2. 悩んだら投げ出してもいい、別のことをしてみよう。3. 必要のない知識はない。必要ないとしか判断できない自分の世界の狭さを反省しよう」というメッセージを頂きました。

## 農業家 川崎麻里氏(44期)

菟野町出身で、子どもの頃から自然の中で過ごす。農業・教育といった分野に興味があり、農学部に進学。そこで、青年海外協力隊の事を知り、農家での研修を経て野菜栽培アドバイザーとしてウガンダへ。任地では、小学校の農業

教育、専門学校での実習、近隣農家への技術指導(換金作物の栽培)、その他日本文化の紹介等に携わる。2年間の赴任期間の後、帰国後は京都市の高校、社会人向け農業ビジネススクールの企画・運営を経て、就職。これがゴールではなく、「美しい自然が残って欲しい、自然とともにある暮らしが広がればよい」という考えのために、農家の立場からできることは?と考えている。

生徒達へのメッセージは、「自分のキーワード(農業、教育、海外自然)を信じて追求する」「世界が広がればできることは増える」「とりあえず何でもやってみたら」

## 訪問看護ステーション東京 看護師 木村直樹氏(48期)

話の内容の大きな三つの柱  
①医療系の仕事の説明  
身体と心の困りごとを解決する仕事である。

「ありがとう」といつてもらえる職種である。  
「どんな人が向いているか」↓「人の役に立ちたい人」

②看護師の仕事の説明  
診療の補助のオールラウンダー(医師の指示の元医療行為をする)「訪問介護」↓「生活を支える場(嗜好も考慮しながらどうするかを考える)」

「看護師に求められるもの」↓医療知識と感性  
「看護師のやりがい」↓「人から感謝されること」  
③学生時代にすべきこと 今、や

## こもの鍼灸院長 新屋翼氏(45期)

「自分が主人公の人生を」。子どもたちに、「10年先の自分は何をしている?」「今やっていることが本当にやりたいこと?」と。高校時代、他人と同じことをしたくない、という思いから進んだ今の道。多くの仕事を経験し、たくさんの人との出会いで得られたもの(世界の大きさ、自分の可能性)は、すべて自分が本当にやりたいことをやってきたから。人生を自分で決めることで、そのための勉強も仕事も苦にならない。今変えることができるのは、自分の未来。好きなこと、やりたいことを少しずつ育むことがスタート。そして、やりたいことを実践し、第一線で活躍している友人を紹介しながら、「自分の視野を広げる」「感性を豊かにする」「多様な人や価値観に触れる」ことが大切、とにかくやってみるこ



新屋翼氏

とだ。うまくいくこともないかもしれないこともあるけれど、新しい世界が開けていく。本当の幸せとは何か、子どもたちに熱いエールを送ってくれました。

**三十三銀行 取引先課  
清水大地氏(54期)**

「学生時代の失敗談」、「体育祭・文化祭」、「知識をつける」、「その他」の4構成での講話。「南高在籍中の失敗談」の中では「高校生になって何がしたいか」という問いから、青春すること、恋愛すること、モテるにはバスケ、などの経験談。「体育祭・文化祭」では、男子は手伝えること、女子はあざとく生きること、距離が縮まるという体験談。「知識をつける」では「約4,000円あったら何ができるか?」という問いかけに、生徒から「遊びに行く」「映画を観る」などの答えがある中で、この金額が大学での1コマの授業料に相当することから、自分が何をしたいのかを考えることが重要であることや、知識を増やすことで将来の選択肢が増えることを説明。「その他」では詐欺に気を付けること、銀行員は公務員か?など銀行員らしい話を交え、将来的には経営者というご自身の夢の話も聞くことができた。



清水大地氏

**Teaching Practice  
教育実習**

今年も教育実習が行われました。第56期、57期生の方々に感想をお聞きしました。

**岸田 薫(英語) 第57期生**

今年も体育祭が中止となり、イレギュラーなことが重なる中での実習でした。そのような状況下で実習生を受け入れご指導頂いた先生方、本当にありがとうございました。この実習を通して、教師という職業の大変さややりがい、身を以って実感しました。なかなか授業が上手くいかないこともありましたが、先生方からのご助言や共に過ごした実習生同士のアドバイスを基に、少しずつ改善を図りました。

生徒が休み時間中も授業の話をしてたことや、「苦手な英語の授業が楽しかった。」という一言にとっても嬉しくなりました。毎日が充実して実りある3週間でした。

**青日菜子(生物) 第56期生**

教育実習が終わった今、実習生という立場で南高へ通った日々は一瞬であったように錯覚しています。実習を通じて、「生徒」として過ごした3年間では知り得なかった高校の一面を垣間見ることができたと考えています。高校時代はそれほど長く感じていた四十五分の授業は、実際に教壇に立つてみるとあっという間に時間が経つことを初めて知りま

した。その短い時間で何を生徒に伝えるのか、試行錯誤しながら授業準備に励んだ2週間でした。

至らない点も多々あったかと思いますが、ご指導くださった先生方、生徒の皆さん本当にありがとうございました。

**田川昂誠(日本史) 第57期生**

教育実習を終えて1番に感じたことは、知識を伝えることの難しさです。自分では理解していることでも生徒に伝えることはとても難しく、とても苦労しました。そして先生方の授業を見学させていた

ただ中で1つでも自分の授業に取り込むことはないと必死に探していました。また、多くの先生方からアドバイスをいただけて少しずつ自分がやりたい授業を行うことができるようになっていきました。

生徒からも挨拶などを通して関わっていく中で、元気を貰いながら実習を行うことができ、改めて四日市南高校の強みを実感することができました。

この経験を活かして教員を目指していきます。全ての先生方、生徒の皆さんありがとうございました。

**樋口憲人(英語) 第57期生**

実際に授業をしてみると、生徒からの返答や時間配分、機器トラブルなどの自分の想定外の事態が多く発生してしまいました。また、生徒の意識を授業に向けさせるための一言やわかりやすい説明、指示の仕方など、自分が高校生のときに何気なく受けていた授業に散りばめられていた先生方の工夫や配慮を知りました。

自分には授業に対しての知識も経験も足りていませんでしたが、そんな状態でも生徒のために一生懸命に

準備して取り組んだ授業経験を忘れずに、次は本当の先生として母校の教壇に立ちたいです。ご指導をしてくださった先生方、また仲良くしてくれた生徒の皆さん本当にありがとうございました。

**服部美玲(数学) 第57期生**

実際に授業を行うと想定していた通りに行かないことが多くありましたが指導していただいた担当の先生の助言もあり無事に実習を終えることができました。

実習を通してただ先生が教えるのではなく、授業の中で生徒自身が考える場を設ける際について考えさせたいのかを考える難しさを感じました。たくさん先生方に授業を見ていただきその中でアドバイスをしてくださった先生方のおかげで成長し、より良い授業をすることができました。

体育祭は中止でしたが普段の生活の中で生徒と関わることができました。この3週間で貴重な経験をさせていただけで良かったです。ご指導いただき本当にありがとうございました。

**服部翔太(物理) 第57期生**

この実習に参加して、「準備」と「配り」の大切さに気付きました。授業の際は、指導教員の先生に何度もチェックをいただきながら指導案を作成していきました。指導案が未完

成の状態でも臨んだ授業はダメダメでしたが、修正を重ねることに、よりよい授業にできました。事前の準備なしで教壇に立ち、授業を行うことは不可能であると痛感しました。また、生徒と触れ合う中で、普段以上に周囲に気を配り、生徒をよく観察することが欠かせないと感じました。この実習での経験は、必ず今後の人生に活かしたいと思います。ご指導くださった先生方、生徒のみなさん、本当にありがとうございました。



後列左より  
服部翔太、樋口憲人、田川昂誠  
前列左より  
服部美玲、岸田 薫、青日菜子

**これから教育実習を希望される予定の皆さんへ**

教育実習の申し込み期間は、実習年度の前年の4月10日から5月15日です。その間の平日に、事前に総務部と連絡を取り、本人が直接来校して手続きをしてください。

# 躍進する部活動

## 美術部

新入部員6名を加え、合計15名で活動中。現在は、間もなく取り壊されるプール周辺の風景画に取り組み、夏季合宿に向け備えています。昨年コロナ禍により合宿が中止となり、本年こそ実施できるよう願うばかりです。(民宿八千代さんが廃業したのが残念。) 高祭、みえ高文祭等でぜひ個性豊かな作品をご高覧ください。

## 自然科学部

今年度は三年生七人、二年生七人、一年生六人の計二十人で活動しています。休日に海や川などで生物を採集し、生物室で飼育・観察・繁殖しています。また、様々な実験を行い、日々、生物学を中心に理解や考察を深めるとともに、科学オリンピックや生物学オリンピックに参加しています。

## サッカー部

男子サッカー部・女子サッカー部として、それぞれ活動しています。部員数は、男女を合わせると99名になります。比較的短い練習時間、人数に対しては少し狭いコートのみで、自分たちで意見を

出し合い工夫しながら練習し、いつも「頭を使ってサッカーをすること」を心がけてプレーしています。

## ソフトテニス部

今年度は、男女15名の新入部員を迎え、現在23名で活動しています。感染対策の観点から、平日は全員での練習が難しく、限られた時間で効率良く練習できるように工夫して取り組んでいます。部活動を通じて、仲間との絆や感謝の心を養いつつ、県大会団体戦ベスト16という目標を達成できるように日々練習に励んでいます。ご支援よろしくお願いたします。

## ハンドボール部

現在部員は、男子29名、女子26名、計55名で活動をしています。限られた時間と場所で効率よく質の高い練習をきびきびと行い、元氣よく声を出して楽しんでプレーすることを心がけています。

3年生男子は新人大会で3位、女子は選抜予選大会と県総体で5位という結果を残しました。

新チーム男子は「最終日まで残る」女子は「常にベスト4以上」を目標に、目指す「走れる進学校」を体現できるよう頑張っています。

観ている人たちに感動してもらえ、試合ができるよう努力し、成長していきたいと思えます。

## バスケットボール部

今年度は男子部20名、女子部20名で活動しています。昨年度は男女とも県大会出場とは成りませんでした。今年度は県大会への出場を目標に練習に励んでいます。また技術の習得だけではなく、礼儀やマナーを身に付け、自分たちでチームの課題を見つけて改善していけるチームになれることを目標に練習に取り組んでいます。

## バレーボール部

コロナ禍とはいえ、四月から多数の新入部員(男子・女子、マネージャー含む)を迎えて活動が始まりました。五月末の県総体では残念ながら男女とも初戦で惜敗し、三年生の活動は一区切りです。六月からは新チームで、限られた時間・場所の有効活用を念頭に、「頭を使ったバレーボール」をテーマに活動しています。

## ワンダーフォーゲル部

『山は楽しく、安全に』をモットーに8名で活動をしています。恒例となっている夏山合宿、スキー・スノー研修、ボルダリング活動は残念ながら昨年度は実施でき

ませんでした。しかし、今年度は県総体が無事に開催され、目標とされていた東海総体には惜しくも届きませんでした。全体で4位という成績を残すことができました。引退した三年生の想いを受け継ぎ、来年度の東海総体出場を目指して今後も練習に励んでいきたいと思えます。変わらぬご支援の程よろしくお願致します。

## 演劇部

今年度は七名の新入部員を迎え、二年生、三年生と併せて十一名で活動を開始しました。最初は緊張していた新入部員も稽古の中で隠れた持ち味を醸し出すようになってきました。

今年も、三重県高等学校演劇大会北勢地区大会での上位入賞を目指します。今後とも演劇部の活動のご支援を願ひ申し上げます。

## 家庭部

家庭部は、コロナ禍で活動に制限がかかる中、新入生3名を迎えてスタートしました。感染対策をとりながら、活動を再開していきます。

昨年度の南高祭は飲食販売ができません、非常に残念でした。今年度は部員数が少なく大変そうですが、「やっぱり家庭部だね」と思ってもらえるような販売が出来るよ

う、検討・準備していきます。

## 硬式テニス部

テニス部は現在男子12名、女子13名の計25名で活動しております。練習時間や活動場所に限りがある中、上位入賞を目標に努力を続けていきます。今後ともご支援よろしくお願致します。

## 吹奏楽部

3月31日に四日市市文化会館で開催された第33回定期演奏会は、部員の保護者様のみ来場されました。また、新たな試みとして、ライブ配信を行い、その後の再生回数も3000回を超えるものとなりました。部員たちも、制約の多い中、新しい演奏会の形を創造してくれました。

今年度は35名の新入部員を迎え、8月のコンクール、令和4年3月27日(日)イスのサンケイホール鈴鹿(旧鈴鹿市民会館)にて開催予定の第34回定期演奏会を目標に、練習に励んでいくつもりです。今後ともよろしくお願致します。

## 卓球部

卓球部は、新入生10名を迎え、2年10名、3年8名でスタートしました。3年生最後の県総体では、男子は3回戦、女子は2回戦でそれぞれ第8シード、第1シード校

と対戦し善戦しました。今年度も中止になる大会もありますが、各自の目標達成に向け目的意識を持ち自分達で練習の工夫ができる自律したチームづくりを目指します。

### 電算無線部

電算無線部は、今年度、3年生4名、2年生2名、1年生6名の計12名で活動しています。毎週水曜日に情報室に集まり、コンピュータに関する自分たちが興味をもったことについて学習したりしています。また、新入生に見せる部活動や学校行事の紹介ビデオ、中学生見学会で上映する学校紹介動画などの作成を行っております。

### 文芸部

3年生1名、2年生1名、1年生5名の7名で活動をしています。普段の活動としては、個々に創作活動を行い作品を通しての交流や部誌作成に取り組む等、主体的に活動しています。また、県内の文芸部員との交流会や学習会に参加する等、校外での活動にも積極的に参加しています。今年度も南高祭では部誌を配布、展示予定です。

### 陸上競技部

6月に3年生の多くが引退し、現在は男女合わせて約20名の部員で活動しています。部員数は少な

めですが、2年生を中心によくまとまり、自己記録の更新や上位大会出場を目指して意欲的に活動しています。5月末に開催された県高校総体では生徒たちがよく頑張りました。見事東海大会出場を果たしました。

### 箏曲部

現在部員は、3年生3名、2年生7名、1年生9名の計19名で、生田流正派大師範の森雅笙先生の熱心なご指導の下、練習に励んでいます。

昨年度行われた「三重県高等学校日本音楽演奏会」(県大会)においては第二位となり、WEB開催となった近畿高文祭奈良大会に出場しました。今年も8月5日(木)に白山総合文化センター(しらさぎホール)で県大会が行われます。今年度は、昨年度の悔しさをバネにして、優勝をめざして日々、練習に励んでいます。新型コロナウイルスの影響で、感染予防対策のために無観客での開催となりそうですが、日頃の練習の成果を十分に発揮していきたいと思えます。

### インターアクト部

インターアクト部は、現在40名の部員で「人のため、世のためになる社会貢献活動」を行っていま

す。昨年度は、「四日市の街づくり」イベント、社会福祉やボランティア活動に参加しました。それ以外にも毎年、ロータリークラブ主催のイベント、四日市あすなろう鉄道や地元の祭りを応援する取り組みを行い、人間性や社会性を磨いています。

### バドミントン部

コロナの感染対策を施しながら、今年は無事に県総体を終えることができました。3年生29人が引退し、寂しい気持ちもありますが、6月以降1・2年生42人で新体制がスタートしたところです。高校からバドミントンを始めた選手がほとんどですが、2年生は1年間培ってきた技術を1年生に教える形で新しいチームづくりに励んで行きたいと思えます。

### 囲碁・将棋部

現在部員は、2年生男子1名、で活動をしています。部員数が少ないなかですが、将棋の様々な練習をしています。また顧問の先生の指導の下、公式大会や棋力認定大会を目標として、日々棋力の向上に取り組んでいます。

### 音楽部

合唱祭で一年半ぶりのステージを経験し、コロナ禍ではありません

が幸先のようにスタートが切れました。男子部員も増え、パートバランスも非常に良くなり、混声合唱中心に本格的な合唱曲からポップスまで幅広い楽曲を取り上げ活動しています。現在、県コンクール、さらに上位大会進出を目指して、ハードで楽しい練習に励んでいます。

### 剣道部

剣道部は現在、1年生4名を迎え、男子9名女子2名、合わせて11名となりました。今年の春季大会は1年生と2年生で男子団体を久しぶりに組むことができ、また県総体では団体戦で皇學館高校を下して2回戦へ進むことができました。3年生は気持ちを入れ替えてそれぞれの新たな目標に向かっていきます。また、1年生を迎えて2年生もやる気を出して夏の大会に向けて日々励まし合っています。

困難な時勢ではありますが、これからも頑張っていけますので応援をよろしくお願い致します。

### 硬式野球部

「意志あるところに道は拓ける」という理念のもとに、甲子園初出場という目標を掲げ、活動しています。「自分自身がどうなりたいか」を明確に持ち、受け身ではなく、その意志を発信することで目

標に近づいています。私たちにしかできない、組織力、戦術、そしてつながり。それらを磨き続けていきます。ご支援よろしくお願いたします。

### 柔道部

近年部員不足に悩む柔道部ですが、今年度は1年生で男子3名が入部。2年生の女子部員1名と同じく2年生のマネージャー1名を含めて5名での活動をしています。男子3名は団体戦の出場要件を満たしているため、新人戦では久しぶりに男子団体戦へのエントリーができそうです。

きつい、厳しいが当たり前の柔道という競技ですが、部員一人一人は自己実現に向けて明るく元気に練習に励んでいます。

### 茶道部

今年度は1年8名、2年8名、3年6名の計22名で、毎週水曜日の放課後活動しています。羽木干鶴子先生に表千家のお点前をご指導頂いています。昨年は点前披露のみでしたが、例年、南高祭では立礼棚を用いた茶席を設け、浴衣姿でおもてなしをしています。制限のかかった状況下での稽古が続きますが、練習成果の披露を励みに和やかに前向きに稽古に励んでいます。

ご注意ください

同窓会名鑑を作成するとう名目で、調査ハガキが多く同窓会員に郵送されております。往復ハガキ等で高額の購入を勧める等の手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係はありませんのでご注意ください。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

# 進路状況

今年度卒業生の主な国立大学合格校は、難関大では、京都大(1)、一橋大(1)、大阪大(1)、名古屋大(8)、神戸大(1)。ついでブロック大として横浜国立大(1)、千葉大(1)、新潟大(1)、金沢大(4)、名古屋工業大(10)、広島大(1)、岡山(1)。比較的近場の地方国公立大では信州大(3)、静岡大(8)、奈良女子大(2)、愛知教育大(2)、三重大(35)、福井大(4)、でした。また、主な公立大学合格校は、横浜市立大(1)、名古屋市立大(1)、京都府立大(1)、大阪府立大(2)、愛知県立大(3)、三重県立看護大(7)、となっています。

学部別の特徴では、「工学」の合格者比率が41.1%(昨年32.1%)と最も高く、例年の本校の大きな特徴となっていますが、4割を越えてきたのは異例のことです。次いで、第2位に「教育」11.3%(昨年10.3%)が入り、第3位「看護」9.9%(昨年6.8%)第4位「農林畜産・生物・生命・環境」が9.2%(昨年12.3%)と僅差で続きまし

た。次に「文学・言語・国際・文化」7.8%(昨年7.5%)「経済・経営・商学」7.1%(昨年8.2%)と文系学部が続きま

す。今年全国的には、過去数年続いた文高理低傾向が終わり、昨年より理系人気が回復していますが、本年はまさしく理高文低となりました。特に情報学への志願者の集まりについては、本校も全国と同様でした。

私立大学に比べて国公立大学は、教育、就職環境に優れているため多くの生徒が全国を視野に入れて出願を行っています。今年度は、国立延べ受験件数は36件減少して323件でしたが、現役合格件数141と結果は良好、合格率は43.7%とよく頑張りました。国公立合格者数は、県内進学校の中でも上位に位置しています。

私立4年制大学の延べ受験校数は1506校、受験者数は297名でした。平均併願校数は1506/297=5.07校(昨年6.32校)と平年より一人あたり1校以上の減でした。受験形態別にみると、一般入試型の受験数は延べ972校(昨年延べ1183校)と211校の減。共通テスト利用型の受験数は延べ354校(昨年538)と184校の減。なお、一般入試型には共通テスト併用型も含まれており、その受験者数のみ平年とほぼ同数の156校でした。

## 2021年度入試 大学等合格者数 (過年度生判明分含む)

国立大学名	現役計	過年度	横滨市立	1	法政	2	3	大谷	2	
北海道		1	神奈川県立保健福祉	1	東京都市	1		京都外国語	2	
秋田		1	富山県立	2	明治	7	1	京都産業	3	
山形	1		公立小松	1	立教	2		京都女子	3	
埼玉	1	1	福井県立	1	早稲田	1	1	京都芸術	1	
千葉	3		静岡県立	1	横浜薬科	1		京都橘	4	
電気通信	1		静岡文化芸術	2	金沢工業	18		同志社	16	
東京学芸		1	愛知県立	3	1	福井工業	1	同志社女子	1	
東京農工	1		名古屋市立	1	1	岐阜聖徳学園	5	立命館	47	
一橋	1		三重県立看護	7		名古屋学芸	8	龍谷	12	
横浜国立	1		京都府立	1		愛知	45	大阪工業	5	
新潟	1		大阪府立	2		愛知学院	11	大阪大谷	1	
富山	4		神戸市看護	1		愛知医科	1	関西	8	
金沢	4		神戸市外国語	2		愛知工業	32	2	関西外国語	2
福井	2	1	兵庫県立	1		愛知淑徳	25		近畿	23
信州	3	1	岡山県立	2		金城学院	24		関西学院	14
静岡	8		新見公立	1		椋山女学園	10		甲南	2
愛知教育	2		県立広島	1		大同	39		武庫川女子	1
豊橋技術科学	1		広島市立	1		中京	104	3	天理	1
名古屋	8		九州歯科	1		至学館	10		奈良	1
名古屋工業	10	1	公立大学計	35	2	中部	46	1	岡山理科	6
三重	35	1	私立大学名	現役計	過年度	豊田工業	2		吉備国際	1
京都	1		酪農学園	1		名古屋音楽	1		広島工業	4
大阪	1		国際医療福祉		1	名古屋外国語	22	1	九州産業	1
大阪教育	1		文教	1		名古屋芸術	3		私立大計	910
神戸	1		開智国際	1		名古屋女子	5		短期大学名	現役計
兵庫教育	2		青山学院	1	1	藤田医科	10		過年度	
奈良女子	2		慶應義塾	1	1	南山	59	2	三重短大	5
鳥取	2	1	駒澤	2		日本福祉	7	3	名古屋女子大短大部	2
岡山	1		芝浦工業	3		名城	126	1	短期大学計	7
広島	3		成蹊		1	愛知みずほ	1		専門学校等	現役計
山口	2		成城	1		東海学園	1		過年度	
徳島	1		専修	3	1	名古屋文理	2		航空保安大学校	1
長崎	1		中央	9		皇學館	16		名古屋医療秘書福祉専門学校	1
宮崎	1		東海	6		鈴鹿医療科学	34	1	日本デザイナー芸術学院専門学校	1
国立大学計	106	9	東京医科	1		四日市	1		名古屋情報メディア専門学校	1
公立大学名	現役計	過年度	東京理科	6		鈴鹿	1		中日美容専門学校	1
名古屋市立	1		日本	2		四日市看護医療	28		調トラス・ホテル・フレイグル専門学校	1
宮城	1		日本獣医生命科学	1		長浜バイオ	3		専門学校等計	6
									0	

延べ受験校数1506校中何らかの形で共通テストを利用しているものは、510校、33.9%と高い割合を示しています。各大学が共通テストを利用した受験方式や併願パターンを多様化させており、受験料の割引や、減額制度も拡大させているところでは、1506=60.4%でした。昨年の割合率は45.0%、一昨年は34.3%であり、私立大学が年ごとに易化しているということができてしまう。全合格者に占める学部別の割合



合を見ると、「工学」が31.8%と圧倒的に多くなっています。次に第2位から第5位まで「文学・言語・地歴・国際・文化・心理」(46%)、「経済・経営・商」(11.1%)、「社会・福祉・心理・人間・情報」(8.7%)、「政治・法」(7.0%)と文系学部が続きます。第6位によりやく理系では第2位の「農・林・畜産・生物・生命・環境」(4.5%)が現れ、理系学部は工学部にのみ人気が集まっているのが顕著です。さらに、第7位に「教育」(4.2%)、第8位に「理学」(4.0%)と僅差で続きます。第9位に「家政」(3.3%)、第10位、11位に「看護」(3.2%)、「薬学」(2.0%)と全国的には人気となった資格のとれる医療系が、本校では不人気となりました。

次に「文学・言語・地歴・国際・文化・心理」系の大学別合格数をみてみましょう。中京大35件(昨年27)が最も多く、ついで南山大25(昨年10)、名古屋外国語大22(昨年7)が昨年圏外からの大幅増。金城学院11、皇學館大11(昨年14)と中京圏の大学が5位までを占めました。続いて立命館大10(昨年6)、愛知9、愛知淑徳大9(昨年13)、同志社5(昨年1)、関西学院4、椋山女学園大4(昨年8)、関西大3(昨年2)と人気の関西圏と人気を分けました。

学部を問わずに大学別の受験件数(1人が同じ大学を複数受けている場合も全て数える)をみると、名城大234件(昨年266)がトップ。2位が中京大205件(昨年282)と昨年度と再度入れ替わり、一昨年と同じとなりました。3位に南山大が111件(昨年145)、4位には立命館大73(昨年93)が続きました。先述にもありますが、ここまでの受験総数が約2割減となつてきているのが本年度の最も大きな特徴でした。さらに目立ったのが近畿大43(昨年度101)の激減と同志社大39(昨年度27)の増加です。全国的に見られる「超安全志向」が本校の私立大学受験については、あまり感じられない結果となっています。

(進路指導部 川崎千佳子)

先生お元気ですか？  
長年本校に勤務され、退職または転勤された先生方にアンケート形式の質問に答えていただきました。

稲垣良二 先生

いつごろ南高校で勤務されましたか？  
平成21年4月に赴任し、10年間お世話になりました。最初と最後の3年間を担任として学年を持ち上がり、残りの4年間は進路指導部に所属していました。自分の母校で最後に卒業生を送り出し、退職を迎えられたことを大変うれしく思っています。

現在の勤め先、近況についてお聞かせください。  
現在は、再任用として川越高校に勤務し3年目を迎えます。川越高校は、私が最初に赴任した高校で、21年ぶりに戻ってきました。

南高時代の印象に残っていることは何ですか？  
生徒が何事にも前向きで、自主的に行動できるところが印象に残っています。6年間担任として生徒と関わってきましたが、文化祭や体育大会を自ら運営していく力には感服し、Liberty(社会的自由)を大切にしている学校だと感じています。生徒総会を現在も続けている学校はそう多くはないんじゃないでしょうか。



また、進路指導部に所属したことで、大学の教授や入試関係者、県内外の進路関係の先生方と交流できたことは自分の財産だと思っています。現在もその交流は続いており、川越高校の学校行事や進路行事にご参加いただいています。

南高および南高生、同窓会生にご助言、メッセージをお願いします。  
南高校の卒業生は2万人を超え、国内外で活躍されています。あなたの身近にも南高の卒業生がきっといるはず。登城が丘で学んだ『誇りを胸に』社会のために貢献できる人でいてください。ご活躍を祈念しています。



## 令和3年度 四日市南高校全体同窓会中止について

令和3年8月14日(土)、四日市都ホテルにて予定されておりました、令和3年度 四日市南高等学校 全体同窓会は、新型コロナウイルス感染防止のため、残念ながら中止となりました。  
会員の皆様におかれましては、宜しくご理解、ご了承を賜りますようお願い申し上げます。

## 第13回 四日市南高校東京同窓会

第13回 四日市南高校東京同窓会は新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。  
宜しくご了承のほどお願いいたします。

## 第9回 四日市南高校同窓会ゴルフ大会のご案内

### 【日時】

令和3年11月2日(火) 8:00よりスタート

### 【場所】

GOLF 5 カントリー四日市コース  
〒512-1105 三重県四日市市水沢町1510  
電話 059-329-3109  
※詳細は四日市南高校同窓会ホームページに掲載  
します。

### 【お申込み方法】

四日市南高校同窓会HPより第9回ゴルフ大会の  
申込み用紙(PDF)をプリントアウトし、FAX(059-  
359-3021)でお申し込みください。  
同学年3名そろえば、学年対抗戦にも参加できます。

### 【お問い合わせ先】

四日市南高校同窓会ゴルフ大会事務局  
幹事 14期生 山路みのる TEL.090-3255-2644  
幹事 15期生 矢田まさき TEL.090-3309-3181

### 同窓会役員名簿

#### 【同窓会役員】

会 長	早野憲一郎	(6期)
副 会 長	山路 熟	(14期)
書 記	大日方敏之	(15期)
	水谷正美	(23期)
会 計	小柳秀樹	(20期)
	川村公博	(25期)
監 事	石山 純	(29期)
理 事	矢田 智	(5期)
	矢野正剛	(7期)
	浦田 治	(19期)

#### 【学校側】

顧 問	梅原浩一	学校長
特別会員	伊藤明日奈	教諭
	川崎千佳子	〃
	小林 仁	〃
	出口宜是	〃
	西 綾	〃
	服部圭一	〃
	廣田育男	〃
	福井翔大	〃
	藤端千絵	〃
	藤波 厚	〃
	村野玉紀	〃

#### 【連絡先】

〒510-8562 四日市市大字日永字岡山4917  
三重県立四日市南高等学校同窓会事務局  
TEL.059-345-3177・3178 FAX.059-345-9549  
[http://www.mie-c.ed.jp/hsyokk/  
07\\_Alumni\\_association/index.html](http://www.mie-c.ed.jp/hsyokk/07_Alumni_association/index.html)  
E-mail hsyokk-dousou@mxs.mie-c.ed.jp

事務	齋藤清美	養護	関本真実	英語	田中 唯	美術	橋本一哉	理科	中川雄太	数学	瀧野直哉	国語	中浦嘉文	校長	梅原浩一	【転入】	事務	白木直美	養護	宮田佳代子	英語	松宮 晃	美術	宮本真友子	理科	近藤治樹	数学	勝 徹	国語	水谷宏樹	【転出】	理科	奈良祐治	校長	加藤幸弘	【退職】	

県教委社会教育・文化財保護課

【前任校等】	県教委生徒指導課
	亀山高校
	伊勢工業高校
	白子高校
	相可高校
	盲学校
	名張高校
	神戸高校

## 教職員異動

令和3年度(敬称略)

